

ミシリ／＼と王の近に寄つて来る、王は眞青になり土色になり、全身をぢぢめる膏汗をジタ／＼流し、ジタリ／＼と後しさりする、怪物はジリ／＼と近寄る、さながら地獄の苦しみを目前に展開された。

酢の物：胡瓜もみ
花かつを

としてチャンドラの尻に寄り、かい抱き、額の髪を搔きあげ、頬に顔を當てれば冷めたくなつてゐる。涙は又もこみよつて來る。そして涙にむせびながら泣き唄ふ。

あゝ チャンドラよ
あゝ チャンドラよ
汝は 早や 我が聲も
聞えないのだ
汝が愛でし

通ふてゐないのだ
あゝ チヤンドラよ
チヤンドラなくして
我は如何に
日を過さん
月姫は悲しみ嘆く、涙を
おさいて、ヒマラヤの峰を
眺めれば、赫々と光り輝き
金色の雲はなびいてゐる。
あゝ あの銀月山！ チ
ヤンドラと共に住んで居た
山に、どうしてただ一人で
歸れやう、月姫の頭の中に
は銀月山の神様のことが浮
んだ。

傳説 佛教 月姫 【五】
コラ!! ボンタツ、汝は
愛慾に囚はれチヤンド
ラを殺害した罪によつて
生ながら地獄になげ込ん
でくれん、汝の手と足を
バラ／＼に切斷し、耳と
鼻を切り、兩眼を抉り抜
き、兩端の尖つた釣針で
汝の生皮と血管を引き裂
き、小石をもつて汝の頭
蓋骨を磨つて貝殻のやう
に白くし、汝の身は油を
注いたむしろに巻き焼い
てくれるん

！と烟を吐いて迫つて行く、そしていつしか見えなくなつた。
しばらくして覆ひかぶさつてゐた黒雲は晴れ、風はなぎ、鳥はもとのやうに嬉々と鳴いてゐる。花の匂はたしょうて來る、蝶は舞ふである。

五・嘆げく月姫

月姫は恐ろしい惡魔から怪物によつて救はれ、ホツ

【朝】味噌汁：ねぎ 小付
守口大根

【晝】野菜椀：メリケン粉
ひき（人參）馬鈴薯 ね

花の匂
我がこの唇も
あゝ、この手も
脈打つこの腕も
もはや、汝には
通じないのだ
我がこの悲しみも
この熱き頬も
汝は感じないのか
あゝ、チャンドラよ
あゝ、チャンドラよ
汝のこの強き・
腕は棒のごと
波立てし胸は
谷間の岩のこと
あゝ、この紺紫の髪も
紫金の肌も
生きた血は

定價一毫金武錢一ヶ月金五拾錢
廣告費五錢十二字估一行金五拾錢
日曆
發行處
電石
印制所
新開社

諸機械製作販賣
會社 田邊製作所

平白銀町(驛前通)
電話二九四四

其他裝飾品一般……
御用命は迅速に御努め致します
諸官衙 御用達 各學校

機械切各種齒車製作

大河內接骨院

X 外科

光線科 内臟外科

科院長安齋

一
產

婦人新科

醫學士黑澤

右
石炭
コーグス
炭
少
阿部
平驛前
電話三十七三

卷之三

平
安

齊町
電四壁

上田外
科醫
院
X 光 線 科 門 專 外
科

卷之三

醫學博士

難波
新川

— 2 —

齒科一帆
工科
口腔
中
外
院

保存科補綴科
小兒歯科 歯槽炎科
一レントゲン
歯科医院

暗黒の街へ化す

平町の燈火管制

最初にしては大成功！

見事な統制ある訓練振

平町の燈火管制訓練は昨八

日午後七時十分警戒警報發

令と同時に開始、同八時空

襲警報發令と共に全くの暗

黒街と化して水も洩らさぬ

燈火管制陣を敷陣、サイレ

ンは鳴り響き傳令は飛び各

班巷に出動して非常時

報解除に至る約一時間十分

の長間に亘つて見事な統

又出動して平署交通取締隊

と協力して萬全の警戒振り

を見せ同八時二十分空襲警

景を現出、交通班

解除了直に同町會

議室聯合防護團本部に綜合

的研究會と主腦部五十餘名

が會堂して開催、町内三方

部各防護團正副分團長その

他が夫々所見を開陳、大井

川指導教官の講評あり熱心

に討議して同十一時散會し

た

第一回の試みとしては大

成功であると思ふ。ただ

左の如く語つた

平町の状況を詳細に監視

した指導官大井川中佐は

機の空襲であつても市民が

い、燈火管制の理想は、敵

機の空襲であつても市民が

い、他人の痛さは自分の身

をつねつて見

初めてよく

世に體験程貴いものはな

く、他人の痛さは自分の身

をつねつて見

(續上) 武士道が立たぬ
丸尾・至陽 (音)
友川右内はおさよの膝え
すり寄り
右『如何にござるおさよど
の、拙者の妻になつては下
さることはならぬか、手前
の父は御承知でもござらが
藤堂家にてはまづ門閥家、
それに食祿も七百石、しか
も地方取でございますから
その實收は千石もござる。
猶亦祖先より貯へた金子も
莫大、それは城下の町人共
や大阪の商人に貸付けて年
々殖えて參るばかり、只あ
なたのお氣に召さぬは手前
は次男、しかし親類へ養子
に行くことになつて居りま
して、それは御城代家の娘
が今の當主の妻女で食祿
は五百石でござりますが、
これまで内福、されば先
生御夫婦に樂をさせる事も
出来ませう、二つにはあなた
も幸福、手前もまことに
まいなさん胸一ツー』
安い蓄音機のやうに蘭蝶
をもち出した、その時分に
は蓄音機はないが、こゝそ
口説きおとすところと右内
は一生懸命、目の色を變へ
額からタラ／＼汗をながし
先づ物質上のうれひなきこ
さよ『左様でもございませ

かはした
右『それは先生もこの縁談
を悪いとは云ひます、また
先生が故障を申しますと
もあなたが御承知なされた
いたしおくが萬全の策でござ
いませう』



二一八 武士道が立たぬ
丸尾・至陽 (音)
友川右内はおさよの膝え
すり寄り
右『如何にござるおさよど
の、拙者の妻になつては下
さることはならぬか、手前
の父は御承知でもござらが
藤堂家にてはまづ門閥家、
それに食祿も七百石、しか
も地方取でございますから
その實收は千石もござる。
猶亦祖先より貯へた金子も
莫大、それは城下の町人共
や大阪の商人に貸付けて年
々殖えて參るばかり、只あ
なたのお氣に召さぬは手前
は次男、しかし親類へ養子
に行くことになつて居りま
して、それは御城代家の娘
が今の當主の妻女で食祿
は五百石でござりますが、
これまで内福、されば先
生御夫婦に樂をさせる事も
出来ませう、二つにはあなた
も幸福、手前もまことに
まいなさん胸一ツー』
安い蓄音機のやうに蘭蝶
をもち出した、その時分に
は蓄音機はないが、こゝそ
口説きおとすところと右内
は一生懸命、目の色を變へ
額からタラ／＼汗をながし
先づ物質上のうれひなきこ
さよ『左様でもございませ

うが、父母の許しを得ずし
て自まゝにそのやうなお約
束をいたすは子たる者の道
にそむき居ることゝ存じま
す、また貴下も御両親の御
承知を得た上ならではその
やうなことは申されぬはず
告げずして要は不幸なりと
云ふ教訓もござります』

右『これはお堅いな、あなた
がそんなことを仰せられ
ば手前はそれを打消すだ
けの證據をこゝで申上げる
彼の詩經にも想ふ男に女が
おくりし詩がござりますが
それには何とございります、

とを真向にふりかざして肉
薄する
さよ『思召は有難いことで
ござりますが、父が何と申
しますか』
とスラリとおさよは体を
せう』

右『これはお堅いな、あなた
がそんなことを仰せられ
ば手前はそれを打消すだ
けの證據をこゝで申上げる
彼の詩經にも想ふ男に女が
おくりし詩がござりますが
それには何とございります、

野暮な屋敷の大小すべて腰
も身軽な町住居をば江戸詰
の者がよく唄ふ都々逸と申
す、人情をうがちました甘
六文字の詩でござります
が

さよ『わたくしは商人はき
らひでござります』

右『大分きらひがあるな、
それでは百姓、これは陽氣
でよろしいさよ『イエ私は
あなたと云ふ人がきらひで
ござります』ときつぱり答
へた

右『それは一番始末が悪い
な、どこがお氣に召ませぬ
かな氣にかなはぬところは
直すことにいたしませう』

さよ『あなたのお心とお顔
と体とが氣に要りません』

右『これは酷い御挨拶だ
な、心は何とかして直しま
すが、顔と体格は直りませ
んな、イヤ大きに失禮をい
たしました、かうことはら
れた方がさば／＼してよい
イエもう思ひ残すことはど
ざいません、大きに失禮、
だ上はきつとの目的はつ
らぬいて見せる、このま、
引きさがつては武士道が立
たぬ』

供にも判ることをむづかし
く云ふ、それ故次第々々に
世の中におくれて置きざり
にされてしまふ。如何でござ
ります』

さよ『わたくしはお武家は
きらひでござります』

右『それでは商人にならま
せう』

野暮な屋敷の大小すべて腰
も身軽な町住居をば江戸詰
の者がよく唄ふ都々逸と申
す、人情をうがちました甘
六文字の詩でござります
が

さよ『わたくしは商人はき
らひでござります』

右『大分きらひがあるな、
それでは百姓、これは陽氣
でよろしいさよ『イエ私は
あなたと云ふ人がきらひで
ござります』ときつぱり答
へた

右『それは一番始末が悪い
な、どこがお氣に召ませぬ
かな氣にかなはぬところは
直すことにいたしませう』

さよ『あなたのお心とお顔
と体とが氣に要りません』

右『これは酷い御挨拶だ
な、心は何とかして直しま
すが、顔と体格は直りませ
んな、イヤ大きに失禮をい
たしました、かうことはら
れた方がさば／＼してよい
イエもう思ひ残すことはど
ざいません、大きに失禮、
だ上はきつとの目的はつ
らぬいて見せる、このま、
引きさがつては武士道が立
たぬ』

と言ひましたが、こんな
事に武士道を持ち出されて
は武士道も大きに迷惑をす
るあります。

品自慢と
正直な値段

自轉車・リヤカー

フ・タ・バ
新川町郵便局前
商會

通薬ジヨク
アロフェノール
平田阿部 藥舗

夜
病性胃腸
内科
花柳病科
皮膚科
門
村松
院
新川町郵便局前
会

三井タクシーシー

番五八六電・二平

外内科
一般
金成
院
診
病性
皮膚科
門
村松
院
新川町郵便局前
会

味美鮭鹽から
魚
當店特製
節
盛賀志
屋
榮
番三一二話電 目丁四平